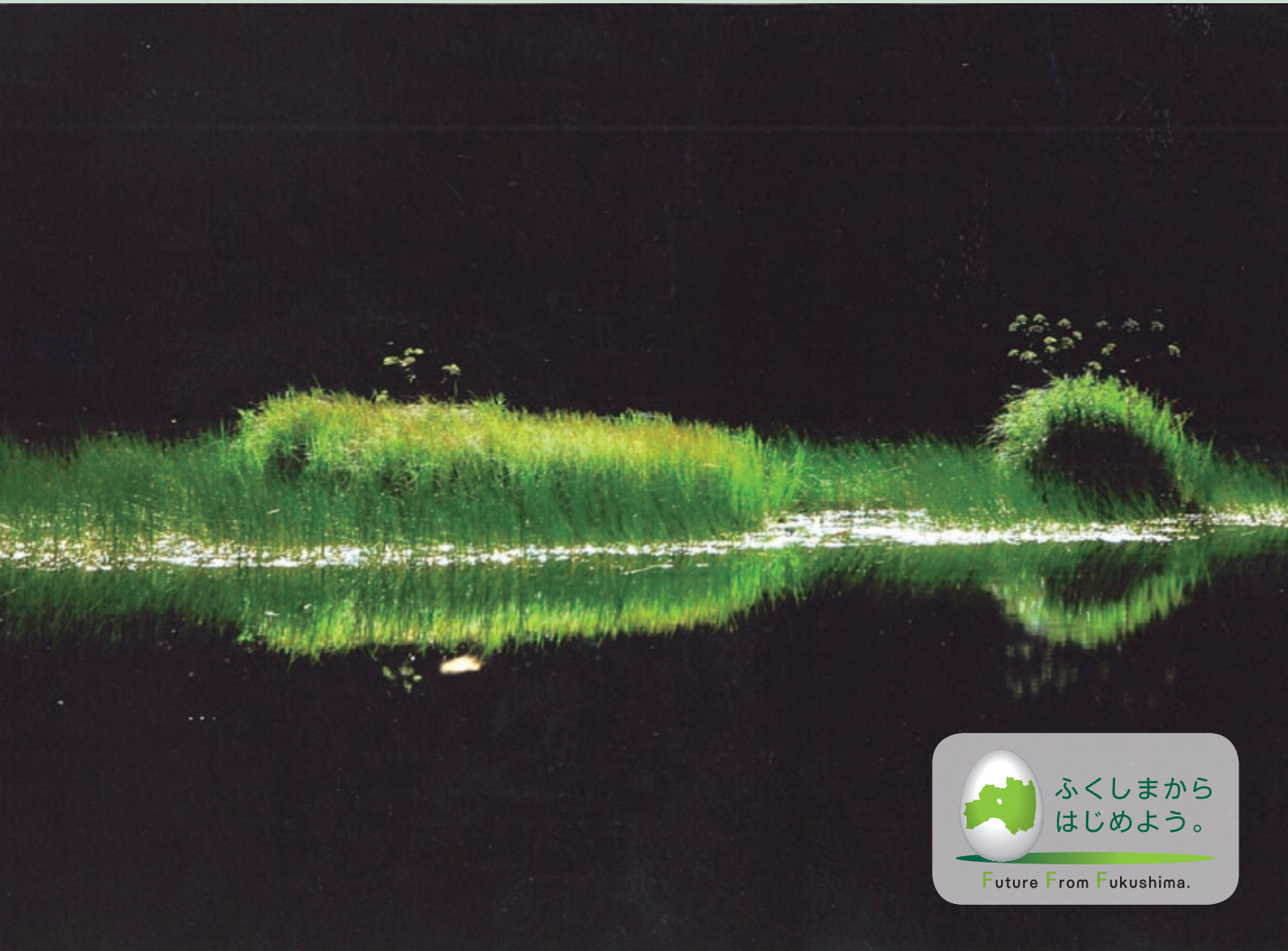




# 福島林業

No. **590**

題字 福島県知事 佐藤 雄平



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

**10** 2013

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■水鳥の楽園



# 福島県森林土木建設業協会が 設立して

福島県森林土木建設業協会

会長 菅 家 洋 一

平成二五年五月、県内で森林土木事業に関わる建設業者、一五三社（九月現在一六八社）が加盟する福島県森林土木建設業協会が設立され新たな歴史を刻み始めている。

前身である福島県森林土木建設協議会が昭和六二年に発足以来、森林土木事業に携わる建設業者により、森林土木事業の振興と技術向上、公共工事施工を通じ、県土の発展に大きな役割を果たしてきた。しかし、平成二三年三月十一日に発生した東日本大震災、さらに原発事故による放射能汚染により、本県は今までに経験したことのない被害に見舞われ、とりわけ海岸防災林は壊滅的な被害となった。また汚染により県内大部分の森林の利活用が影響を受けている。

森林の復興は、わが国にとって間違いなく戦後復興に次ぐ大きな課題である。我々、森林土木事業に関わる建設業者が、より強固な団結力を結集し、県民の安全・安心はもとより、まずは一刻も早い福島復興に向け、尽力したい。

最近、「里山資本主義」（著書・藻谷浩介）という本を興味深く読んだ。森林林業における循環型社会の構築を目指し、森林という身近に眠る資産を、最先端の自然エネルギーとして甦らせている事例を紹介している。福島宝である森林自然が持っている資源を活かし「美しい里山ふくしま」を活性化させることこそ、私の理想であり目標である。

当協会は、全国森林土木建設業協会や福島県、関係機関・団体と連携・協調を図りながら、治山・林道・森林整備、木材産業の抱える課題解決に向けて、また森林・林業に対する県民の理解の促進、県産材の需要拡大、森林・林業に関する調査研究、森林整備等の林業予算の確保と施策の充実を目指し、目的の実現に努力していく。

しかしながら、森林土木業界を取り巻く情勢は、木材価格の低迷や山村の疲弊等から林業や木材産業の経営が低迷しているほか、行財政改革の流れの中でこれまでにない対応が求められるなど大変厳しい環境下であり、より効果的かつ効率的な協会運営が必要となっている。私をはじめ当協会に課せられた使命の重大さを一層認識し、役員はじめ会員が一体となり、森林・林業、木材産業の活性化の一助となるべく業務の推進に全力を挙げて邁進する所存である。

## 《も く じ》

とびら	福島県の治山事業と保安林……………	6
福島県森林土木建設業協会が設立して	普及指導員通信……………	7
福島県森林土木建設業協会	きのこセンターだより……………	8
会長 菅家洋一……………	木連だより……………	9
福島県森林土木建設業協会設立される…	森林管理署メモ……………	10
福島県優良建設工事表彰について……………	林協ニュース……………	11
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 優良森林土木工事等表彰 ……	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
平成25年度福島県山地防災ヘルパー講習会の開催について…	はなしのひろば……………	13

# 福島県森林土木建設業協会設立される

風薫る五月末に当協会が設立されて以来四ヶ月が経過しました。今回、「林業福島」への寄稿の機会が与えられましたので、当協会の概要及び活動状況についてご紹介します。

## 1 概要

当協会は、会員一六八社（九月現在）で構成する県内唯一の森林土木建設業団体です。

その前身は、昭和六二年に設置された福島県森林土木建設協議会に遡りますが、震災復興への対応等社会的要請に応えるため体制を強化し、新たな組織として平成二五年五月三一日に設立されました。

協会の事業活動は、県民の安全・安心な生活を守るため森林土木事業の拡大推進、技術の向上、森林・林業の再生を図ることを目的としております。

その目的を達成するため、森林土木事業の振興の調査研究のほか、会員への情報提供、また、会員からの

意見要望は業界の課題として捉え、関係方面への要望等を関係団体と連携して行うこととしております。

## 2 活動状況

震災後、復旧・復興事業の本格化に伴い、被災地における公共事業が急増した結果、労務単価の上昇や専門技術者の不足が生じ、県営事業等の公共事業において不調・不落が発生しており復旧・復興事業の施工に支障が出ないよう入札不調・不落対策が求められております。

一方、地域社会を支えてきました建設業界においても、工事現場を担う技術者や技能労働者の不足や、復旧・復興関連では工事積算が現場実態に合わないなど入札に関わる問題等、業界内の努力には限界がある課題を抱えております。

そこで、当協会では、去る九月四日に福島市において「平成二五年度福島県森林土木建設業協会情報交換会」を開催し、県担当部局と協会役員との間で県営公共事業を巡る現状

について意見交換を行いました。

また、九月五日には、会津若松市において「平成二五年度「全森建」北海道・東北ブロック会議」が開催され、林野公共事業に関する要望等を行いました。

会議の概略は次のとおりです。

### (1)「情報交換会」

情報交換会は、県及び協会役員等二七名が出席しました。

会議では、「福島県の森林土木事業を巡る現状と課題」について県から「入札不調対策」、「林道路網の整備・森林再生事業」、「治山関係復旧事業」等の取り組み状況の説明がありました。その後、情報交換に移り、「業界の現状、課題」等を議題として活発な意見交換が行われました。

### (2)「ブロック会議」

ブロック会議は、林野庁、福島県、全森建（全国森林土木建設業協会）、北海道・東北の各協（議）会の役員等十九名が出席しました。

会議では、全森建から「平成二六年度林野公共事業概算要求の概要」等について説明がありました。また、林野庁に対して各道県協議会から林野庁施策への要望が行われ、当協会は「森林の除染対策、森林再生事業」について要望しました。

## 3 おわりに

当協会の活動は緒に就いたばかりですが、引き続き全森建、福島県、関係団体と連携して、業界の課題解決に向けて更には、本県の復興を目指して努力してまいります。



# 福島県優良建設工事表彰について

## 福島県森林整備課

○ 平成25年度福島県優良建設工事は、土木部関係で16部門18件（19社）、農林水産部関係で8部門8件（8社）の受賞が決まった。

平成24年度に完成した工事を対象としているが、平成25年度においては、災害復旧部門を新たに創設し、表彰することとした。

ここでは林業関係の受賞工事3件について紹介する。



下田地区

### 治山部門

■施工業者 〒963-5322 東白川郡矢祭町大字内川字真木野5

矢祭建設株式会社 代表取締役 藤田 清

■事業名 復旧治山事業 下田地区

白河市表郷番沢地内

■工事概要 山腹工 1.59ha

■寸評 本工事は、東日本大震災により山腹が崩壊しJRバス専用道路に大量の土砂が流出したことから、山腹工事1.59haを施工したものである。

軟弱地盤で重機等の稼働が制約されたことに加え、施工中に山腹中腹にクラックが発生し、法切範囲の拡大や土留工の新設など設計が大きく変更する中で、工期内に工事を完成させたことは評価できる。

山腹工の崩落防止、浸食防止を目的に設置された延長約3,600mの丸太筋工の設置に当たり、設置基準高、上下の設置間隔を座標管理するとともに、丸太筋工の横丸太を二面落としにして接地面を水平にすることで施工性と出来映えを向上させたことは大いに評価できる。土砂運搬経路がJRバス運行路と一部重複するため、道路脇にバス運行時刻を表示し安全対策を行った。

ハイブリット型バックホウの使用や現場周辺の国道、市道の清掃作業など、環境対策や社会貢献活動にも取り組んでいる。

むしろ伏せ、種子吹付の植生を促進させるため、6月の渇水期に2週間にわたり散水養生を行ったことから、山腹面は十分に緑化し極めて優秀な出来映えである。



酒垂宝木線

### 林道部門

■施工業者 〒963-5405 東白川郡塙町大字塙字大町4-6

深谷建設株式会社 代表取締役 深谷 佳孝

■事業名 ふるさと林道緊急整備事業 酒垂宝木線

東白川郡鮫川村大字赤坂西野字酒垂地内

■工事概要 自動車道 L=922.1m

■寸評 本工事は、山間部の狭小な施工現場で行う林道改築工事であり、構造物として土留工5基、暗渠工5箇所、施工延長922.1mを行った工事である。

既設道路は通勤・通学等に利用されており、一般通行の安全を確保しながらの困難な現場条件の中での施工となり、各種協議に時間を要したこと、台風による降雨での崩落等により復旧工事が増となり、工程の見直し、作業員の確保や資材の調達が困難な中、工程管理を厳密に行い、工期内に完了させたこと、さらに施工面、安全面共に適切な管理がなされており高く評価できると共に、出来映えも優秀である。

平成24年6月の台風4号による地山クラックや崩落箇所の対応としてノンブリズム光波の導入や透明シートによる地山の確認など工夫を行い、施工中の安全確保にも配慮し、また、施工に当たっては、緑化ブロック中詰めの特殊アタッチメントによる転圧の実施や現地発生材利用の自然石積み提案など創意工夫もこらされており、高く評価できる。

環境マネジメントシステムによる環境保全対策の実施、特に現場周辺に農地が多く存在したことから、「油脂漏洩」に配慮しながら工事を実施した。

当該路線は通勤・通学路でもあることから、道路清掃、散水、冬期間の除雪、凍結防止剤の配備・散布を行う等、環境対策や社会貢献についても高く評価できる。



東山地区

### 治山（災害復旧工事）部門

■施工業者 〒969-5311 南会津郡下郷町大字豊成字林中6112

株式会社渡部工務所 代表取締役 渡部 勝男

■事業名 災害関連緊急治山事業 東山地区

南会津郡只見町大字黒谷字東山地内

■工事概要 溪間工 治山ダム V=923.8m<sup>3</sup>

■寸評 本現場は、集水面積が140haと広く既設治山ダムがある荒廃溪流で、溪間内には不安定土砂が相当量堆積しており、谷幅が狭く沢水の仮廻しが困難で降雨による流出の危険性が大きく、さらに、直下流に既設ダムがあるなど現場の広さに制約を受ける状況にある。

対象工事は治山ダムとしては大規模（V=923.8m<sup>3</sup>、H=8.5m、L=40.5m）であり、現場条件上、予期せぬ豪雨による型枠材の流出が2度あったにも拘わらず、突然の流量増に備え仮設のコンパネとブルーシートで水路工を設置するなどの工夫をして工期内に完成させた。

ダムの施工に当たっては、残置式型枠材に角材を使用しターポリン紙の密着性を高めコンクリートの漏れを防止したり、湿潤養生において沢水が冷たすぎるとタンクを利用し水温を上昇させるなど品質確保に努めた。その結果、堤体・間詰コンクリートや残置式木製型枠の状況もよく、さらに、右岸植栽も見事に緑化されており全体として極めて優秀な出来映えとなっている。

周辺環境の配慮として、水質汚濁防止のため直下流に沈砂池を設置したり、オイルフェンス一体型発電機を使用し下流へのオイル漏れ防止に努めた。

さらに、熱中症対策としてミスト扇風機を使用したり、外部コンサルによる安全教育や安全診断を行い事故防止の徹底を図ったことは高く評価される。

# 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 優良森林土木工事等表彰

この表彰は、当協会が、公益を目的として実施する表彰事業の1つです。

表彰の種類は「林道維持管理」、「優良森林土木工事」、「優良工事監督者」の3部門で、「林道維持管理」3団体、「優良森林土木工事」7社、「優良工事監督者」8名が受賞対象となりました。

表彰式は、平成25年6月13日に福島市で開催された通常総会において執り行われました。

各部門の受賞者は次のとおり。

## 1 林道維持管理コンクール表彰

森林の整備、利用と山村の活性化に寄与する林道について、その維持管理状況の優秀な路線を表彰するものです。受賞団体は本宮市など3団体

なお、いわき市の「茨線」については、中央コンクールに推薦されました。

団体名	管理者名		対象路線名
本宮市	本宮市長	高松 義行	高松線
塙町	塙町長	菊池 基文	湯岐前線
いわき市	いわき市長	渡辺 敬夫	茨線

## 2 優良森林土木工事等表彰

県等が発注する森林土木工事でその成果が優秀であり、他の模範となる優良工事及び現場責任者を表彰するものです。平成24年度に完成した工事を対象。

治山事業で4社、林道事業で3社計7社、また、優良工事監督者8名が受賞

### (1) 治山事業の部

工事名	工事箇所	代表者
山地災害総合減災対策治山 (福島南東地区)	伊達市霊山町石田字馬館山地内	大沼林産工業(株) 代表取締役 大沼 貞生
災害関連緊急治山 (深沢地区)	岩瀬郡天栄村大字大里字深沢地内	渡富建設(株) 代表取締役 渡部 勲
山地災害総合減災対策治山 (矢祭地区)	東白川郡矢祭町大字内川地内	矢祭建設(株) 代表取締役 藤田 清
災害関連緊急治山 (東山地区)	南会津郡只見町大字黒谷字東山地内	(株)渡部工務所 代表取締役 渡部 勝男

### (2) 林道事業の部

工事名	工事箇所	代表者
ふるさと林道緊急整備 (板庭入宝坂線)	東白川郡塙町大字上石井地内	藤田建設工事(株) 代表取締役社長 藤田 光夫
森林居住環境整備 (大山美坂高原線)	耶麻郡西会津町下谷地内	(株)海老名建設 代表取締役 小柴 芳郎
森林居住環境整備 (矢竹阿多根線)	南会津郡南会津町熨斗字矢竹地内	(株)館岩工務所 代表取締役 芳賀 博之

### (3) 優良工事監督者の部

所属	氏名等		職種
大沼林産工業(株)	伊達市	佐藤 三郎	治山
渡富建設(株)	郡山市	三部 隆史	治山
深谷建設(株)	塙町	星 博樹	治山
藤田建設工業(株)	矢祭町	鈴木 則夫	林道
国土防災技術(株)福島支店	福島市	森山 一久	治山
(株)海老名建設	会津若松市	横田 圭三	林道
(株)渡部工務所	南会津町	星 友博	治山
(株)館岩工務所		湯田 宗博	林道



表彰の様子①



表彰の様子②

# 平成25年度福島県山地防災ヘルパー講習会の開催について

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

山地防災ヘルパーは、山地災害から県民等の生命や財産を守るために、福島県が実施する県内の山地災害に関する情報収集について、自主的に協力してくれるボランティア活動者を定めたもので、知事が認定しています。

福島県山地防災ヘルパー連絡協議会は事務局を（公社）福島県森林・林業・緑化協会内に置き、次の取り組みを行っています。

主な内容としては、自身の安全を確保できる範囲において、自主的に山地災害の予兆現象や災害の発生状況等に関する情報を収集し、最寄りの農林事務所等に情報提供するもので、東日本大震災や新潟・福島豪雨災、その後の集中豪雨災等においても積極的に活動しています。



現地研修状況（飯坂）



現地研修状況（茂庭）

現在、会員数は88名で、県内の市町村職員や森林組合職員などが主な登録者となっており、今年度は新たに5名の方が認定されました。

平成25年8月29日（木）、福島県森林保全課主催により平成25年度福島県山地防災ヘルパー講習会が福島県自治会館を会場に開催されました。また、翌日は福島市飯坂町字片倉山地内において治山事業実施箇所等での現地研修も併せて行われ、県内から防災ヘルパー会員のうち24名が参加しました。

講習会は、情報収集活動に必要な知識や資質の向上を図るため、毎年開催されており、近年のゲリラ豪雨等にみられる突発的な災害が多く発生していることから、地元の地形や地質を把握されている山地防災ヘルパーの活躍が期待されています。



講習会での受講状況

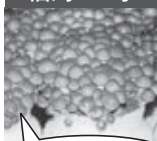


福島气象台予報官による講義

## きのこで地域を元気に (公社) 福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ  
・ハタケシメジ  
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org

# 福島県の治山事業と保安林（第5回）

林業技士（森林土木）

高橋 榮

## 連載 “福島県の治山事業と保安林”

### A 治山事業

- 一、治山事業の必要性
- 二、山地治山事業
- 三、山地治山県単独事業
- 四、県内地方別治山事業実施の主な特徴
- 五、治山事業のはじまり

### 六、過去の代表的な災害

- 七、治山事業の将来への展望
- B 保安林
  - 一、保安林の種類と目的
  - 二、保安林に指定された森林の規制
  - 三、保安林の特典
  - 四、保安林の解除

### 五、保安林の管理

- 六、これからの保安林
- C 東日本大震災による林地被害とその対応について
- D 治山事業に対する時代の要請と技術の進歩などの変遷に対する対応について

### D 治山事業に対する時代の要請と技術の進歩などの変遷に対する対応について

私が治山関係の仕事をした、昭和26年から、昭和63年までの間に色々な移り変わりがあり、その代表的なことは次のとおり。

#### 1. 治山工事の直営

昭和25年まで各出先事務所では、直営工事を2～3箇所実施し、その外は建設会社の請負にしていた。但し植栽を主とするものについては町村又は森林組合請負にしていた。（直営工事は昭和33年まで）

昭和26年より事務名が荒廃林地復旧工事監時出張所から治山出張所になり、直営工事は各事務所1箇所にしたようです。

#### 2. 設計歩掛りの標準化

昭和26年に「治山事業設計標準」が出来て設計が標準化された。

#### 3. 会計検査受検

昭和25年頃より農地林務関係の検査はあったが、主として補助工事で、治山工事は昭和31年からあり、検査内容は主として現場検査で、設計内容については、その2～3年後からであった。

#### 4. 資材運搬用索道の設計

昭和33年に福島治山出張所で県内で初めての索道設計をした。但しワイヤーや器械の安全計算はしていない。

#### 5. 治山砂防の調整会議開催

昭和38年に工事施工箇所の重複を避けるため、土木部と第一回の調整会議を開催した。基本としては治山は保安林及び保安林予定地、砂防は砂防指定地及び砂防指定予定地とした。

#### 6. コンクリートの容積配合から重量配合に

昭和40年から設計に組み入れ、コンクリートの強度を安定させた。この頃より手抜き工事が少なくなった。

#### 7. 竣工検査に注水検査を採用

昭和40年頃よりコンクリートに約1m以上穴をあけ、注水検査を実施した。

#### 8. 雑割石積からブロック積に移行

昭和41年頃より雑割石からコンクリートブロックを使用することになった。原因は雑割石採取困難となったため。

#### 9. 治山工事現場に建設機械を導入

昭和43年頃よりダム工事の床掘に建設機械が入ったので設計にも採用した。

#### 10. 山腹工事に種子吹付を採用

昭和44年頃切芝不足により、山腹法面に種子吹付をするようになった。

#### 11. 玉石コンクリートを廃止

昭和46年頃より玉石が容易に採取出来なくなったことと、コンクリートの質を良くするため、全面的に玉石コンクリート使用を中止した。

#### 12. シュミットハンマーの使用

昭和46年頃より、コンクリートの強度を確認するのに採用した。

#### 13. 林野庁治山課との設計協議

昭和50年頃より設計額1千万円以上の箇所について、設計協議をするようになった。内容は設計の規模、積算の方法と内容についてであった。

#### 14. 設計委託のための講習会開催

昭和54年に森林土木課職員により、設計委託先である林業協会職員を対象に、現地測量の方法から設計製図までの指導を3日間に亘って開催した。

#### 15. 治山事業設計方針（溪間工編）と治山事業山腹工種構造図の作成

昭和54年に森林土木課で作成し、設計の参考にして、設計の統一を図った。

#### 16. 農林土木工事共通仕様書を作成

昭和56年と昭和57年の2ヶ年間で農林検査課で取りまとめた。その中の農林土木工事施工管理基準と、直接測定による出来型管理基準の中の森林土木部分を、林業職員が取りまとめた。

これによって工事施工管理と、工事の出来型管理をするようになった。

以上

# 森林整備を促進するための 森林作業道の計画策定

■相双農林事務所  
林業指導普及員 阿部正久

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、相双農林事務所管内では、双葉郡や飯館村、南相馬市の一部が避難指示区域に指定され、森林所有者を含む多くの住民が避難を余儀なくされております。また、避難指示区域外でも放射性物質への不安などから、管内民有林の森林整備が著しく停滞しており、この状態が続けば、森林が持つ水土保全機能等の公益的機能の低下が懸念されることはもとより、産業や雇用の場としての林業も停滞し、避難住民の帰還を遅らせることになるなど、復旧・復興への足かせとなりかねません。

このため、相双農林事務所では、今年度新たに創設された「ふくしま森林再生事業」により、間伐や更新伐などの森林整備と作業道の新設・改良の路網整備を行い、管内の森林整備の促進を図ることとしました。

林内の路網密度は、林野庁の路網・作業システム検討委員会で示された路網整備水準75~200m/ha（中傾斜地（15~30°）、車両系）を目安としておりますが、相双農林事務所管内の路網密度は17.7m/haと、大きく下回っております。

そこで、円滑な森林整備に必要な路網の整備を適切に行うため、林業課と富岡林業指導所の職員10名を対象に、森林作業道の計画策定等の技術習得を目的として9月18日地区別研修を開催しました。

研修は、森林作業道に関する講義や図上演習、現地適合状況の確認を平成25年度に県行造林事業を計画している南相馬市鹿島区のブナ坂地区2箇所と北ノ入地区1箇所の計3箇所、面積は合計約10ha、7~8齢級のスギ・ヒノキの森林を対象として行いました。

まず、森林土木課の普及指導員から、森林作業道の基本構造や計画する地形の選び方など、計画する上のポイント等について講義を受けたのち、県行造林地3箇所について、地形図（2,500分の1）を元に森林作業道の線形を計画する、図上演習を行いました。計画する森林作業道の路網密度は現地の状況から150m/haとし、斜面の傾斜や沢の横断、縦断勾配、土場の位置に注意するとともに、既存の作業道の改良についても検討しました。

その後、北ノ入地区の1箇所について、現地において実際に図上の計画測点を設定し、現地の適合状況を確認しました。その結果、「現場においては地形図に現れない微細な地形の変化が多く、起点や法線、終点の

修正が必要」なことが明らかとなりました。北ノ入地区が双葉断層に位置していることも要因のひとつと考えられますが、図上と現地確認はセットで行うことが必要であると改めて実感することとなりました。

今後、ふくしま森林再生事業の進捗に伴い、森林作業道等林内路網の開設と森林整備の実績が上がるが見込まれます。今回の研修を通して得られた知識を県行造林の経営計画や市町村指導に生かし、相双農林事務所管内の森林整備の更なる推進に寄与していきたいと考えております。



図上演習の様子



現地適合状況確認の様子

（単位：m/ha）

区分	作業システム	基幹路網			細部路網 森林作業道	路網密度
		林道	林業専用道	小計		
緩傾斜地 (0~15°)	車両系	15~20	20~30	35~50	65~200	100~250
		15~20	10~20	25~40	50~160	75~200
中傾斜地 (15~30°)	架線系				0~35	25~75
	車両系	15~20	0~5	15~25	45~125	60~150
急傾斜地 (30~35°)	架線系				0~25	15~50
	車両系	15~20	0~5	15~25	45~125	60~150
急峻地 (35°~)	架線系	5~15	-	5~15	-	5~15

地形傾斜・作業システムに対応する路網整備水準の目安  
（林野庁「路網・作業システム検討委員会最終とりまとめ」より抜粋）





きのこ鑑定

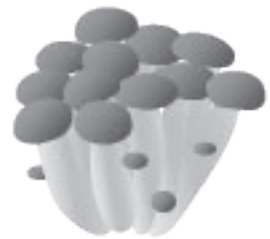
今年も秋が深まってきました。収穫の秋です。黄金色に色づく稲穂を筆頭に田畑では様々な作物が収穫されますが、「きのこ」もまた、秋になるともつとも身近な場所で見かけるようになります。そして、きのこ栽培方法の一つである自然環境を利用した方法ですと、収穫が始まる時期でもあります。この時期には、きのこ

きのこセンター  
だより

## 秋、「きのこ」

(公社)福島県森林・林業・緑化協会  
きのこ振興センター

主査 平田 尚久



きのこ振興センター

こ振興センターでは、旧(財)福島県きのこ振興センターの時代より、野生きのこの鑑定を行っています。例年初秋の頃より、きのこ鑑定に来所される方が多くおられました。原子力発電所事故以降、県内市町村の多くが、野生きのこの出荷制限になつていことから、鑑定持込み件数も大幅に減少しています。きのこ採集を目的に山歩きに出かける機会がなくなつていいためだと推測しますが、人が採らなくても、今秋もきのこ達はいつもの年と変わることなく、静かにきのこを発生させています。

いまだこのような状況ですが、きのこ振興センターでは、今秋、南会津町におきまして、「きのこ観察会」と「きのこ料理教室」をプロモーションいたしました。

野生きのこは「食べられる」「食べられない」の一面に注目されがち

ですが、森林のなかで非常に大切な生態系の役割を果たしています。山に一步入って、実際にきのこを採取して、この季節に身近な場所でのようなきのこが生きているのかを観察します。もちろん、一番の関心事である食中毒についても、食中毒予防の観点から、特に食中毒事例の多い間違えやすいきのこについて、実物を見ながら学べる絶好の機会でもあります。

また、「きのこ料理教室」では、きのこを含めて可能な限り地元食材を活かした家庭でもできる料理を学びました。今回は南会津地域で生産される旬の食材、ハタケシメジ、ブナシメジ、シイタケ、ナメコ(福島N2号)、会津地鶏、南郷トマトを選びました。福島県内では各地域で様々なきのこが生産されています。例えば、郡山市内ではシイタケ、ナメコ、マイタケ、エノキタケ、ヒラタケ、白ヒラタケ、オオヒラタケ、キクラゲなどが作られています。これらのきのこは地場の食材を組み合わせた料理の提案は、地産地消の促進など地域活性の一助となることを願っています。

現在流通する栽培きのこは、安全な原材料と栽培方法、そして検査体制等も確立され、安全安心な食材で

すので、県産きのこの消費拡大につなげていきたいと思えます。

さて、今回各催しの参加者には、記念品として「きのこ菌床セット(三種)」を配布しました。これは、数日間きのこを観察しながら栽培できるキットです。持ち運び容器にもこだわりがあり、南会津町産のブランド「南山杉」の間伐材を使用して作りました。きのこ観察が終わった後も、活用頂きたいと思えます。

このように当センターでは、きのこ栽培者向けだけでなく、一般向けきのこ観察会、イベント開催やきのこ菌床セットの作成など、広くきのこに関わる事業を行っていますので、お気軽にご活用ください。



きのこ菌床セット

### 木連だより

## 福島県産材を使うと、 とってもお得! 最大80万円分の ポイント 特典ゲット!

住宅の新築・リフォームをお考えの方へお得な情報です!

#### 木材利用ポイント制度

**1Pt=111円**  
1ポイント1円相当で、商品券や農林水産品などと交換できます。

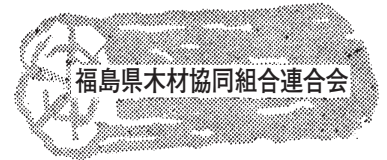
#### ご存知ですか?

#### 木材利用ポイント制度。

「木材利用ポイント」とは、地域の需要喚起のために地域材を活用した、木造住宅の新築や内装・外装の木質化工事、木材製品の購入などに対してポイントを発行し、地域の農林水産物などと交換する制度です。地域材を適切に利用することで、森林が整備・保全され、地球温暖化防止や循環型社会の形成に貢献し、農山漁村地域の振興に資するとして、林野庁が支援している事業です。

#### 【対象】

木材利用ポイント事務局に登録された事業者が工事又は製造するものです。



#### 【条件】

- ① 木造住宅の新築・増築又は購入一棟あたり三〇万ポイント。特定被災区域の住宅であつて全壊等と認定された場合は五〇万ポイント。平成二六年三月三十一日までに工事に着手し、スギ、ヒノキなどの地域材を基準以上利用するなどの条件を満たしている必要があります。
- ② 住宅の床・内装及び外壁の木質化工事  
平成二六年三月三十一日までに工事に着手し、工事の内容・規模に応じて最大三〇万ポイントが付与されます。
- ③ 木材製品、ペレットストーブの購入  
木材利用ポイント事務局に登録されており、平成二六年三月三十一日までに購入されたものが対象となります。ポイントの発行数は、製品ごとに異なります。登録された製品は、全国事務局のホームページから検索できます。

1Pt (ポイント) = 111円

#### 【ポイントを交換できる商品等】

- ◎ 地域の農林水産品など
- ◎ 農山漁村地域における体験旅行
- ◎ 全国型商品券・プリペイドカード・地域型商品券
- ◎ 即時交換 など

#### 森と住まいのエコポイント事業

福島県が独自に実施する事業です。林野庁「木材利用ポイント(上記)」との併用が可能です。

- ◎ 一般住宅対象：一棟あたり二〇万ポイント。

◎ 平成二六年二月二八日(金)

#### 【条件】

- ◎ 被災者・避難者対象：三〇万ポイント。
- ◎ 福島県内に自ら居住するための木造住宅であること。
- ◎ 施工業者の主たる営業所は福島県内にあること。
- ◎ 主要構造材(梁・桁・土台)及び間柱(厚さ二七ミリ以上)において所定の福島県産材を使用していること。

## 人にやさしい木の家

#### 木材は人にやさしい

木材は、断熱性が高く、調湿作用があり、目と与える刺激が小さいなど、人に心地よい感覚を与える素材です。

#### 適度な湿度に保つ

木材は、空気中の湿度が高い時には水分を吸収し、湿度が低い時には水分を放出すると言う調湿作用を持っています。このため木材を建物の内装などにたくさん使うと、部屋の中の湿度の変動は小さくなります。

#### 断熱性や衝撃に対する安全性が高い

木材は、無数の細胞からなり、そのひとつひとつに熱を伝えにくい空気を含んでいるため、コンクリートなどに比べ高い断熱性をもっています。木材、ビニルタイル、コンクリートの床材にして足の甲の皮膚の温度変化は、木材がもつとも冷えなかったという結果が得られています。

また、木材は、パイプ状の細胞が柔軟に変形してクッションのような役目をするので、例えば、大理石に比べて二〜三倍の衝撃吸収能力があります。

#### 目にやさしく、音をまろやかにする

紫外線は私たちの身体に悪い影響を与えることがありますが、木材は、紫外線をよく吸収するため、木材から反射する光にはほとんど紫外線は含まれません。刺激も小さいので、木材は目にやさしい材料であるといえます。

また木材は、音を適度に吸収してまろやかにし、心地よく感じる範囲に調整してくれます。音が適度に反射するので音が聞きやすいといわれています。

#### 木材は、健康に良い

木材は、人の生理面や心理面に良い影響を与えることが知られています。例えば、特別養護老人ホームでの調査によると、木材を多く使用している施設では、インフルエンザにかかったり、転んで骨折をしたりする入居者が少ないという結果が出ています。

福島県木材協同組合連合会 <http://www.fmokuren.jp>

電話：024-523-3307 ※詳しくはHPまで

森林管理署メモ

## 尾瀬大江湿原 における ニホンジカ対策 について



シカ道

会津森林管理署南会津支署は福島県の南西部に位置し、管内の国有林野面積は約一万余と広大な森林を管理しております。その中には、尾瀬という大きな観光・自然資源も抱えており、福島県側については、そのほとんどが国有林となっており、ミズバショウというくらい木道整備が進んでいます。あまり知られておりませんが、尾瀬の木道は、南会津支署の前身である山口営林署が昭和



会津森林管理署  
南会津支署

二七年頃に敷設したのが始まりとなつています（現在は、環境省、県、東京電力により敷設）。

尾瀬の大江湿原については、かつては、ニッコウキスゲが湿原一面に咲き誇り、よく観光パンフレットやポスターにも使われていました。近年々花の咲くエリアが狭くなり、平成二四年はニッコウキスゲの凶作に加え、ニホンジカがつぼみを食べてしまい、花がまばらにしかみられない状況でした。このことは、毎年九月に行われている尾瀬サミットでも大きな問題となり、新聞報道等でも大きく取り扱われました。

今年も、福島県をはじめとする関係者により、ニッコウキスゲの花が咲く七月のみですが、夜間パトロールを行い、ニホンジカの追い払いを行いました。その効果が出たためか、花やつぼみの食害は少なかったようです。



シカの食害を受けたつぼみ

尾瀬周辺は豪雪地帯のため、そもそもニホンジカが生息していない地域でしたが、平成に入った頃から、固雪になる春先から降雪が始まる初冬頃までの間、日光方面から尾瀬まで遠征してくるようになり、湿原の掘り起こしや湿原植生の食害も目立つてくるようになりました。ニホンジカは積雪深五〇センチ以上の上では、行動できなくなるため生存できないと聞いていましたが、地元関係者によれば、深い新雪を泳ぐようにして行動している個体もいるようです。周辺の森林内では、立木の剥皮被害は今のところ見られない（一部クマ剥ぎ有り）ものの、林床植生や低木を見ると、ところどころに食害跡が見られます。

地元猟友会による捕獲も実施されていますが、徒歩でしか行けない地域であり、罾の見回り・シカの回収が容易でないこと、観光地であるた

め銃による捕獲が難しいこと、等により、大量捕獲は難しい状況となっております。根本的な解決策としては、シカの個体数調整しかありませんが、すぐに個体数を減らすことは困難な状況です。

そこで、シカの個体数が減る前に湿原植生が回復不能な状況になるのを防ぐため、応急措置として、大江湿原周辺約三・五キロメートルを柵で囲う計画を森林管理署で現在検討しております。課題も多くありますが、関係機関と連携して、湿原を保全していきたいと考えております。

シカ被害については、全国的な問題となっており、隣接県の群馬県や栃木県では、造林木の皮剥ぎや植え付けた苗木の食害、さらには熊剥ぎも加わって、林業に大きな影響が出ています。今後、福島県内でもニホンジカの生息域の拡大、被害増加の可能性があるので、注意深く観察していく必要があります。



満開のニッコウキスゲ

林協ニュース

第10回

ふくしま森林・林業  
写真コンクール  
入賞者決定！

最優秀賞

「木のアーティスト」



優秀賞「材木運び」



優秀賞「初雪の巨木場」



最優秀賞「木のアーティスト」



優秀賞「孫の記念樹に」



特別賞「子供の成長に笑顔」



《第10回ふくしま森林・林業写真コンクール入賞者》

※応募総数87点

賞	タイトル	氏名	住所
最優秀賞 (県知事賞)	「木のアーティスト」	小林 正義	石川町
優秀賞 (県森林・林業・緑化協会会長賞)	「孫の記念樹に」	鈴木 透	郡山市
	「初雪の巨木場」	武藤 秀隆	須賀川市
	「材木運び」	坂野井 浩	福島市
特別賞 (県林業会館理事長賞)	「子供の成長に笑顔」	長谷川錦治	いわき市
入選	「窯だし」	河野 善次	福島市
	「杉年輪」	武藤 恵子	須賀川市
	「冬支度」	佐藤 尚久	国見町
	「匠の技」	佐藤 源策	郡山市
	「新築中」	田崎 栄一	柳津町
佳作	「運搬」	金子紀美子	本宮市
	「備えあれば安心」	村山 和子	郡山市
	「ひざし」	関根 松美	須賀川市
	「里山の朝」	石森 文夫	いわき市
	「遅しく生きる」	池上 和夫	郡山市

当協会では、森林・林業・木材とのかかわりや森林整備作業などをテーマに、第十回ふくしま森林・林業写真コンクールを開催し、六月から九月二〇日まで作品を募集しており、八七点の応募がありました。審査委員会は十月二日、高橋良雄氏（県写真連盟）を委員長に、県林業会館会議室で行われました。コンクールの趣旨に沿ったテーマで表現されているか、などについて審査した結果、最優秀賞（県知事賞）には小林正義さん（石川町）の「木のアーティスト」が選ばれました。小林さんの作品は、「チェーン

ソーを巧みにあやつり、力強く作業しているところを写し撮った写真である。背景を黒くすることで飛び散る木片が高速シャッターで写し止められ、チェーンソーをあやつる腕の太さが表現され臨場感あふれる写真に仕上がって県知事賞にふさわしい写真だと思います。」との審査委員長の講評がありました。さらに、表のとおり、優秀賞（県森林・林業・緑化協会会長賞）三点、特別賞（県林業会館理事長賞）一点、入選五点、佳作五点が選ばれました。

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(7月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	並	スギ	8(8~8)	0	(0~0)	0	9(9~9)	1	8(8~9)	0	
		10~13	4.00	並	スギ	9(8~11)	△1	9(9~9)	0	9(8~10)	0	9(8~11)	△1
	中	14~18	3.00	並	スギ	10(9~12)	△1	11(11~11)	0	10(9~11)	0	10(9~12)	0
			並	ヒノキ	14(13~15)	△1	28(28~28)	0	13(11~15)	△1	16(11~28)	△1	
		6.00	並	スギ	16(15~18)	0	8(8~8)	0	14(13~15)	△1	14(8~18)	0	
			並	ヒノキ	26(24~28)	0	(0~0)	0	20(14~25)	△1	23(14~28)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	11(10~13)	△1	11(10~13)	0	10(9~11)	0	11(9~13)	0	
		4.00	並	アカマツ	8(8~9)	△2	(0~0)	0	9(9~9)	0	9(8~9)	0	
		1.80	並		6(5~6)	△1	(0~0)	0	8(8~8)	3	6(5~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	26(26~26)	0	(0~0)	0	26(23~28)	0	26(23~28)	0
並				米マツ	30(29~30)	1	26(26~26)	0	27(24~30)	0	28(24~30)	1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27(25~28)	0	27(25~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	31(28~34)	0	31(28~34)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	4(4~4)	0	(0~0)	0	3(3~3)	0	4(3~4)	0	
			並	広葉樹	4(4~4)	△1	(0~0)	0	6(6~6)	0	5(4~6)	△1	

六月の原木市場への入荷状況は、前月比九割増(前年比二割増)の二一、六一九立方メートルとなっている。  
 販売量については、前月比八割増(前年と同じ)の二一、一〇四立方メートルとなっている。  
 七月の価格については、外材はじり高が続いているが、それ以外は弱含みとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

当日は、東白川郡内の小学生一三四人にボランティアスタッフが森の案内人、グリーンフォレスト、森林管理署、農林事務所職員のほか地元高校生ボランティアの指導により木



自然散策



鮫川和紙を使用したうちわづくり

この森林教室は、平成十九年度から毎年開催されており今年度が七回目の開催となります。会場は東白川郡四町村が持ち回りで設定し、東白川地方公民館連絡協議会、県南地方林業協会、県南農林事務所が主催しております。

子供たちからは、「楽しかった」「疲れた」などの感想が聞かれましたが、身近にある森林の大切さを知る夏休みのいい一日になりました。

平成二五年八月七日に、東白川地方の夏休み森林教室が鮫川村農業者トレーニングセンター及び館山を会場に開催されました。

工体験や自然散策などを行いながら、森の役割などの話に熱心に耳を傾けていました。



「二〇一三夏休み森林教室 in 鮫川村」が開催されました

県南農林事務所森林林業部 岡部 広承



## 黄色のコスモス

道端に咲く黄色コスモス：今でこそ当たり前に見る光景だが、黄色コスモスが誕生するまで、実に三〇年にもおよぶ研究が重ねられてきた。

佐俣教授（玉川大学農学部）は、昭和三二年、大学のコスモス圃場で、紅系の中に突然変異で黄色に発色した株を発見し、二〇年以上にわたり研究を続けておられた。その当時、私が目にした黄色コスモスは、黄色があまりに薄く、なんて華奢なコスモスだろう：と思っていた。このコスモスの生命が、来年にも繋がることを私は、ただただ祈るばかりだった。ピンクや白のコスモスの群れとは反対に、秋の大きな夕焼けの中でいつも心もとなげに、少しずつ肌寒くなっていく風の形に揺れているだけだった。

その後、研究は実り、昭和五五年頃から鮮やかな黄色に定着してきたが、その四年後教授は、病のため志半ばで突然この世を去ってしまった。

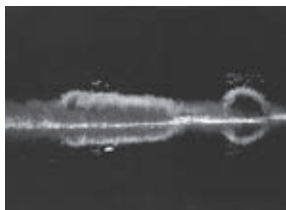
しかし、その教授の志は、研究室で受け継がれ、黄色コスモスの生命は永遠にわたりつないでいけることになった。

昭和六二年、種苗法により、とうとう世界初の黄色コスモス「イエローガーデン」が登録され、平成十二年には、オレンジ色のコスモス「オレンジキャンパス」が開発された。

黄色コスモスが発見されてから半世紀もの歳月が流れ、あの華奢なコスモスも今では、秋のきれいな陽光にも、大きな夕焼けにもよく似合う花になった。

「黄色」は、暗闇に差す一筋の光の色といわれている。佐俣教授が生涯を懸けた「黄色」のゆえんが、今にして思えばここにあったのかも知れない。道端に咲いている黄色コスモスを、あなたも眺めてみませんか。（都）

## 表紙の写真



「水鳥の楽園」

平成24年度 第27回ふくしま緑の写真コンクールで銀賞となった藤田健三さん（福島市）の作品。

編集

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業同組合  
福島県農林業公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

発行人

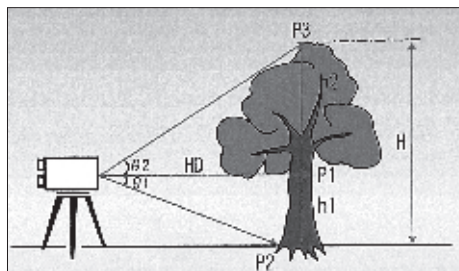
相馬 雅俊

陽光社印刷株式会社

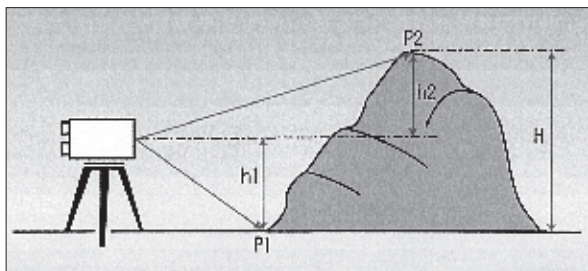
（定価 一〇五円）

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

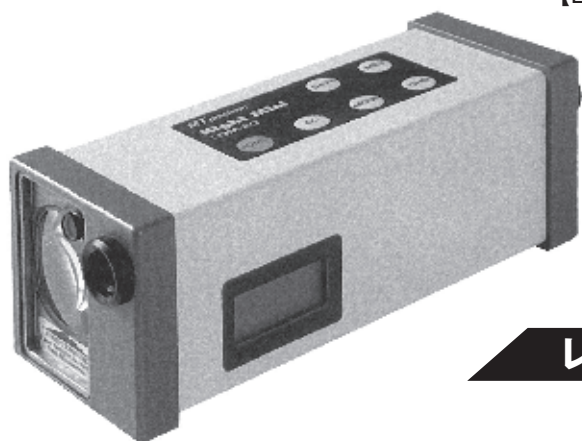


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



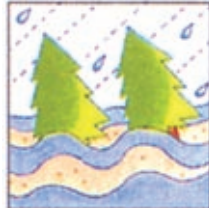
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



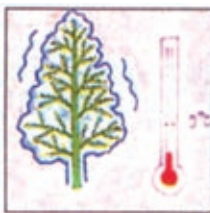
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課  
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

## GP-45V グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ

- 高耐久性を迫及したフレームとトング
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトングによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トング
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な植栽木を守る**

ヤシマレント

**蜂さされ防止**

ハチノックL (巣退治)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る  
住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

**くん蒸用生分解性シート**

与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



## 住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

チッパーシュレッダ



**竹もOK!**  
**SR3000-2**  
出力 22.3kW (質量1,330kg)  
水冷ディーゼル  
X379301020  
¥3,543,750(税込)

プロソー



**GZ3900EZ**  
排気量 39.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)  
95VPX 967159303  
HS 25AP 967159104  
91VXL 967159204  
HM 21BPX 967159404  
95VPX 967159305



**GZ4300EZ**  
排気量 43.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
45cm(18")  
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)  
95VPX 967159902  
HM 21BPX 967160504  
95VPX 967159904

**ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店**  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1